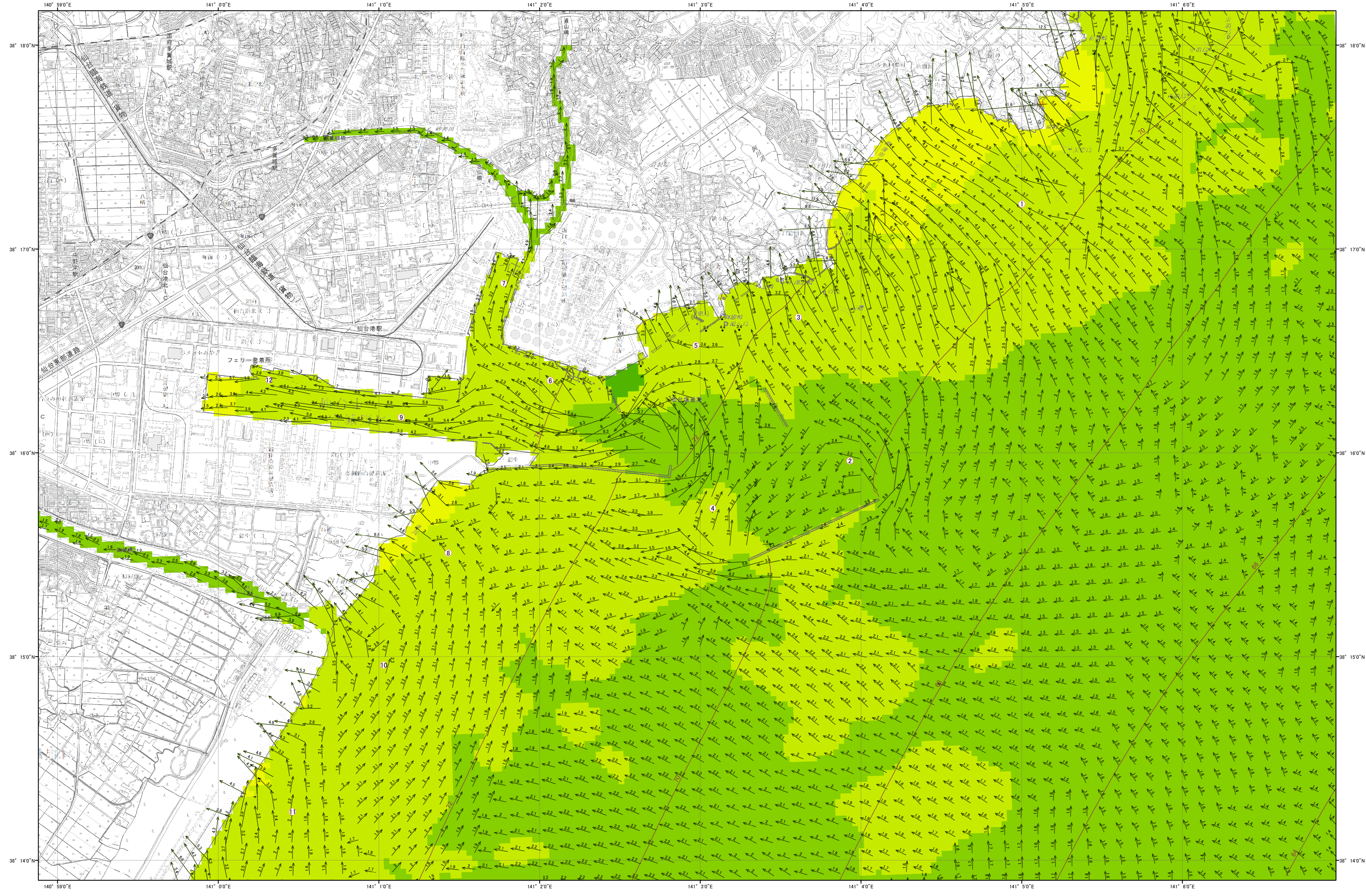


計算条件：最高水面(零位)
 隆起量：平均 -0.01m(-0.02m ~ -0.01m)
 Zo：0.93m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

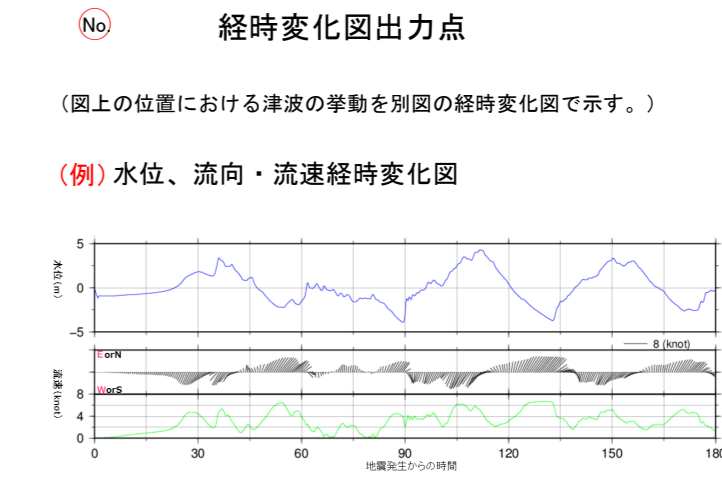


座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

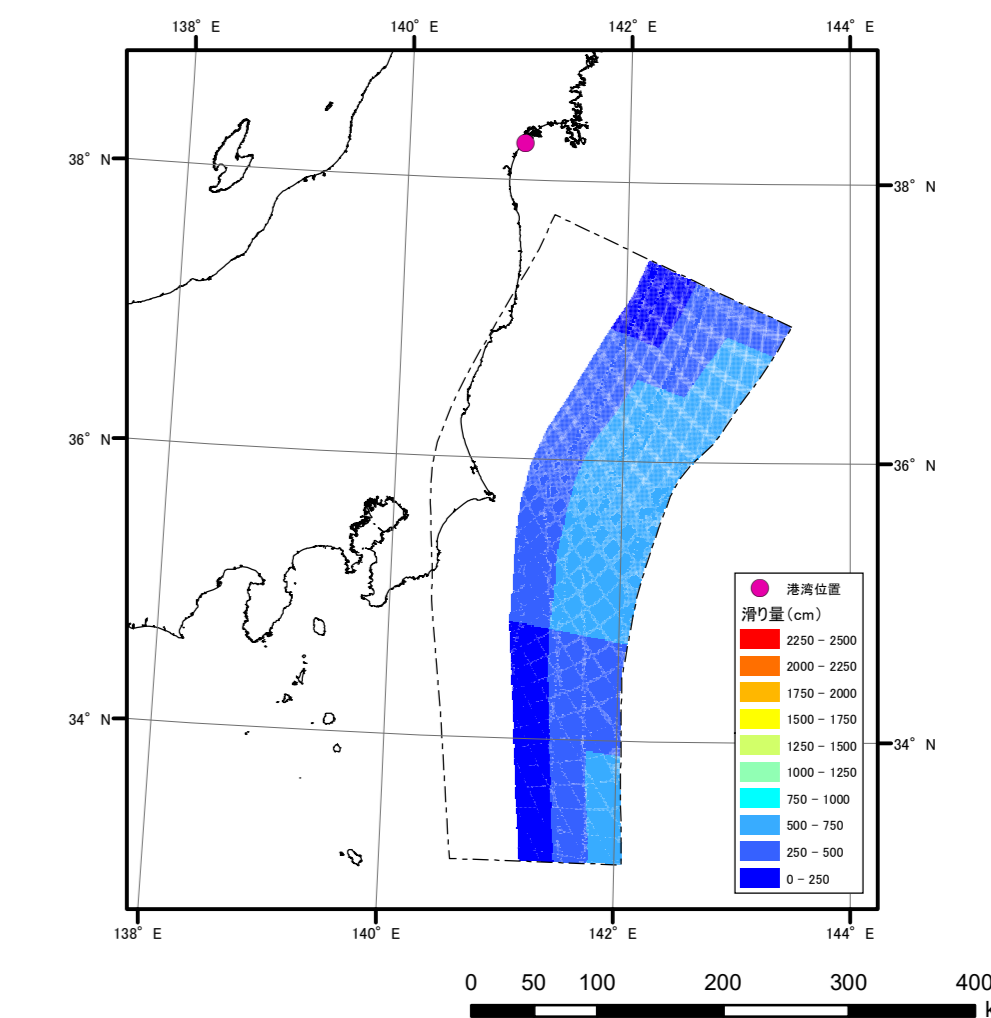
- 最大水位上昇
- 5~最大5.2m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満



- 進入時最大流 [knot]
- 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断面モデル



延宝房総沖地震
 モーメントマグニチュード Mw 8.5

本断面モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情機、第1374号 平成29年3月10日)